ともしび 闘灯

BUNKA I NEWS

6月16日（水曜日）
発行責任　石橋康裕
編集責任　教宣部

仲間の団結の温もりを大切に闘いの強化

お客さまは二の次まずは黒字だ 利便性など関係なしの会社施策

こんなんで本当に旅客鉄道会社なの？ コロナ禍なのに「密」を作り出す施策？

JR千葉支社では5月以降「みどりの窓口」のある駅以外の受託駅の案内用大型時刻表を撤去しました。

JRの商品カタログともいうべき大型時刻表の撤去です。

私たちの会社ではこのような商品をご用意していますのでぜひご利用ください。というべきものを一方的に撤去してしまいました。

4月に配布された大型時刻表での案内はまかりならんとばかりに4月号の大型時刻表の撤去を実施しました。

会社は、大型時刻表をご覧になる旅客が減少しているとの理由から一方的に撤去してきました。

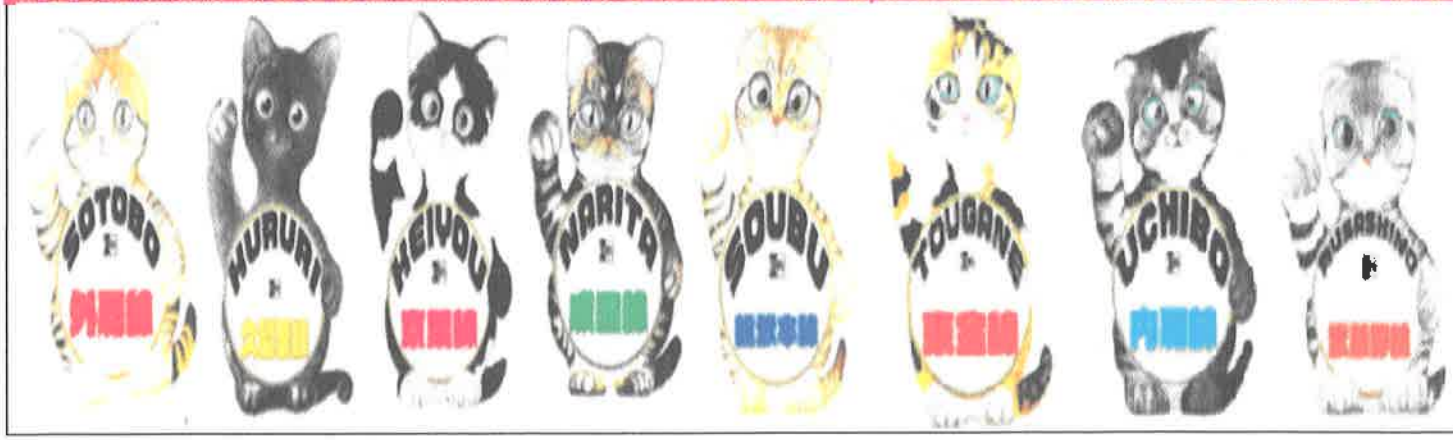
旅客鉄道会社を名乗り商売をしていながらこの施策を強行する姿に本当に旅客鉄道会社なの？この会社は何処に行こうとしているのか？と大いなる疑問を持ってしまいます。

JR本体以上のサービスを提供するのが千葉支店のお偉いさんたちに一言JR本体を上回るサービスを提供するというなJESSですと豪語していたJESSです。

配布すべきでは？

又利用するお客さまの多い駅で自動改札機の通路を閉鎖し、更に、自動券売機も利用できる台数を減らしています。

3月のダイヤ改正から実施されているワンマン運転の拡大ではJESSが始まって以降100パーセントを超える乗車率の電車が発生して極めて「密」な状態が恒常化しています。

新型コロナウイルス感染拡大を防止する観点からお客さまに一密を避けるようにお願いしながらこの施策です。

JRの安全と利便性の向上を求める地域フォーラムキャラクター